

第7回今治市中心市街地創生デザイン会議 議事概要

日 時：令和7年2月27日（木）午後1時30分～午後3時40分

場 所：今治市みなと交流センター「はーぱりー」 1階 みなとホール

出席者：大成経凡、羽鳥剛史、菊川堅吾、窪仁志、原竜也、長野和幸、越智智美、森昇平、白石道子、青陽孝昭、山本優子（第一号委員から第三号委員毎に五十音順）

議事

『今治市中心市街地グランドデザイン』の策定に向けて

- （１）第6回デザイン会議の振り返りと本日の検討事項
- （２）『中心市街地グランドデザイン（素案）』
- （３）公共施設等再編部会における検討内容
- （４）今後のスケジュール

議事概要

【委員意見】

○今治商店街・エリアマネジメントについて

- ・ 広小路は景色が変わる期待が持てるが、商店街はもっと閑散となるのではないかと危惧している。商店街は何か考えはあるか。
⇒広小路の整備によって商店街にも波及効果が出るように進めるほか、エリアマネジメントの取組は継続して行っていきたい。
- ・ FC 今治高校里山校の生徒は、高校3年生になるときに学生寮から出ていく必要がある。その行き場所の一案として商店街の空き店舗等が考えられるので、これも社会実験の1つとしてとらえてもよいと思う。
- ・ 広小路整備の方向性と商店街との結びつきはどう考えているのかなど、グランドデザインで示している整備内容について、方向性だけはきちんと説明しないと市民に理解されないと思う。
⇒計画策定後もまちづくりに関するシンポジウムや社会実験などの機会を通じて、市民への丁寧な周知を行っていきたい。
- ・ エリアマネジメントは具体的に進んでいて、拠点や各エリアのプレイヤーを育てると明確にわかりやすく書かれており、この3年間で成果が見えてきている。

○グランドデザインにおける提案内容について

- ・ モビリティの話が弱いのではないかと感じた。特に自転車に関しては、回遊ルートを強調できないか。例えば、中心市街地の中に自転車専用レーンを一本つくるといったように、もう少し踏み込んだ内容を書くことはできないか。
⇒次年度以降、交通戦略についても議論することは可能であるため、グランドデザインに位置

づけることは難しくても、今の意見を踏まえて広く議論したい。

- ・ ミズベ・ウォークは、エリア別まちづくり市民会議でも良い意見が出ていたため、短期的に何かできるのではないかな。

⇒中心市街地全体で社会実験ができるとおもしろいと思うが、行政だけで全てはできないので、機運も含めてそういう体制が必要である。

○グランドデザインのコンセプトについて

- ・ ウォーカブルなまちにしていくというコンセプトをもっと市民に伝えて、意思表示をする必要があるのではないかな。
- ・ コンセプトにウォーカブル等が挙げられていますが、何のためかがわかりにくいと思った。

⇒近年の潮流として、観光客用につくられたまちではなくて、楽しそうに暮らしていて、自分もそこに住んでいるような気になって滞在して楽しむことができるまちづくりが求められており、そのためには、ゆっくり歩いたり、長く滞在したりすることが必要だと考えている。

ウォーカブルは、そういう意味ですごく大事になる。

○シビックゾーン（複合庁舎の検討）について

- ・ 複合庁舎の検討の中で、ネウボラ拠点施設の整備も検討の中に入れた上で候補地 B が最適案ということであれば、より説得力がある。
- ・ グランドデザインの中で、複合庁舎整備検討のところだけ詳細な印象を受けた。事業スケジュールや資金計画など、他条件との兼ね合いで B 案は変わる可能性もあるという説明だったが、タイムスケジュール的に急ぎすぎているのではないかと感じた。

○その他

- ・ 海事関係者からの寄付による MICE 機能を備えた会議場について、スケジュールとしてどの段階で出てくるのか。

⇒MICE の話が出てきたのは 12 月であり、十分な議論がなされていないのが現状である。現時点でグランドデザインに反映させることは難しく、引き続き、調整を図っていきたい。

○答申等について

- ・ グランドデザイン（案）をもって市長諮問に対する「会議の答申」とする。（全会一致）
- ・ 本日の会議及びパブリックコメントの意見の反映については、委員長及び事務局に一任する旨、了承された。